

合格者報告書

校種・教科	一次・二次・三次・最終順位	年齢	受験歴	氏名
中学英語	一次 19 位 最終 2 位	24 歳	初めて	

●合格者の点数(自己採点でもよい) ※小学校受験者は二次試験実技の点数も記入してください。

一般教養	教職教養	専門教科	実技	小論文	面接	模擬授業
13 点	44 点	101 点 +5 点加算	43 点	44 点	107 点	117 点

●力を入れた事、入れなかった事(科目等) ※具体的にお願いします。

私は本格的に試験対策をスタートしたのが2月だったため、一般教養に関しては勉強する時間がなく、1週間の内3時間程度しか触りませんでした。そのぶん、教職教養に力を入れ、何度も学習指導要領を音読したり、写本したり、問題を解いたりしてひたすら覚えめました。わからなかった文言や箇所はひたすらノートに書き写し、ノート一冊を学習指導要領の文章で埋め尽くすほど、暗記には時間を費やしました。また、人物や指導法などの暗記は一問一答などを繰り返し行い、1秒以内に答えきれるようになるまで行いました。

専門に関しては、英検準一級と一級の語彙をひたすら覚え、長文読解を1日一題やるよう心掛けました。車の中では英検のリスニング教材をひたすら流し、リスニング強化に務め、必ず毎日英語には触れるようにしていました。

●これまでの試験との違い(心構え、対策、生活サイクル、等)

私は今回が初めての試験だったので、これまでとの試験の違いは分りませんが、生活サイクルや学校でのサイクルは大きく変わりました。禁酒をはじめ、試験が終わるまでは友達付き合いもだいぶ我慢し試験に臨みました。ただ、遊ぶときは遊び、息抜きする時間は必ず設けてあまりストレスをため込まないように自分なりに工夫はしました。

●その他(上記以外の実施事項、アドバイス等)

自由欄

私は、日々勉強してもなかなか思うように点数が伸びず、試験直前ですらも目標点数に届いていませんでした。そのためか、時には「お前に合格なんて当分無理だよ、厳しい現実を見ろ」と、悔しい言葉をかけられることも何度かありました。そのたびに、自分はこれからなんだ！見てろよ、絶対見返してやる！という思いで最後まであきらめずに勉強に励んできました。試験では自分の過去の模擬試験の点数を10点以上も上回る驚くべき結果を出すことが出来、努力してきた力が最後の最後でやっと発揮できたという思いでいっぱいでした。

最後まで自分を信じて努力し続けることの大切さを身に染みて感じました。ですので、周りと比較して焦って落ち込む事はせずに、自分の努力と力を信じて日々頑張りたいと思います。

